

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	異文化コミュニケーション	
科目基礎情報							
科目番号	0047			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子・生産システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	後期:2		
教科書/教材	教科書：Kyoko Yashiro他「What Do You Mean? - Exploring Communication Gap」（金星堂）						
担当教員	佐藤 奈々恵						
到達目標							
1. 異文化コミュニケーションをテーマにした英文を読み、英文の意味とその内容の本質を正しく理解した上で、それらを日本語で説明できる。 2. 自国文化と他国文化の差異や共通項に気づき、異文化間の相互理解・共生のための知識や態度を身につけることができる。 3. グループプレゼンテーション活動において、チームで協力しながら文献・資料収集などの発表準備を行い、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的な発表ができる。 4. 異文化理解のための外国語運用能力向上を図るものとして、TOEICスコア450-500点程度を取得するために必要な基礎力を確認できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	異文化コミュニケーションをテーマにした英文を読み、英文の意味とその内容の本質を正しく理解した上で、それらを日本語で説明できる。			異文化コミュニケーションをテーマにした英文を読み、英文の意味とその内容の本質を概ね理解した上で、それらを日本語で説明できる。		異文化コミュニケーションをテーマにした英文を読み、英文の意味とその内容の本質を理解した上で、それらを日本語で説明できない。	
評価項目2	自国文化と他国文化の差異や共通項に気づき、異文化間の相互理解・共生のための十分な知識や態度を身につけることができる。			自国文化と他国文化の差異や共通項に気づき、異文化間の相互理解・共生のための基本的な知識や態度を身につけることができる。		自国文化と他国文化の差異や共通項に気づき、異文化間の相互理解・共生のための知識や態度を身につけることができない。	
評価項目3	グループプレゼンテーション活動において、チームで協力しながら文献・資料収集などの発表準備を行い、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的な発表ができる。			グループプレゼンテーション活動において、チームで協力しながら文献・資料収集などの発表準備を行い、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた発表ができる。		グループプレゼンテーション活動において、チームで協力しながら文献・資料収集などの発表準備を行い、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた発表ができない。	
評価項目4	異文化理解のための外国語運用能力向上を図るものとして、TOEICスコア450-500点程度を取得するために必要な基礎力を確認できる。			異文化理解のための外国語運用能力向上を図るものとして、TOEICスコア450-500点程度の取得を目指すことができる基礎力を確認できる。		異文化理解のための外国語運用能力向上を図るものとして、TOEICスコア450-500点程度の取得を目指すことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	異文化間のコミュニケーションについて書かれた英文を読み、異文化コミュニケーションが潜在的に抱える問題点について考察するとともに、他国文化と自国文化の比較を通して、異文化理解と多文化共生について理解を深める。また、異文化理解のための外国語運用能力向上を図るものとして、TOEICスコア450-500点程度を取得するために必要な基礎力の定着を目指す。						
授業の進め方・方法	1. 学生は、テキストの各ユニットの内容と関連事項についてグループでプレゼンテーションを行う。 2. ユニットごとに本文の内容理解や語彙・文法を問う小テストを実施する。 3. TOEIC形式の問題演習を適宜行い、TOEICスコア450-500点程度を取得するために必要な基礎力の定着を図る。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		授業のねらいを理解し、それに基づいて今後の学習計画を立てることができる。		
		2週	<Nonverbal Communication>	Unit 1. The Japanese Bow	Unit 1 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。		
		3週	Unit 2. Smiles		Unit 2 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。		
		4週	Unit 3. Eye Contact		Unit 3 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。		
		5週	Unit 5. Hand Gesture		Unit 5 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。		
		6週	Unit 6. Body Movements		Unit 6 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。		
		7週	Unit 7. Space		Unit 7 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。		
		8週	達成度確認テスト		これまでの学習内容を整理することができる。		
	4thQ	9週	TOEIC問題演習		英語学力テスト（TOEIC-IP）に向け、TOEICテストの問題演習に取組み、問題の要点を理解することができる。現時点における自分の英語力を把握し、今後の学習計画を立てることができる。		

	10週	<Verbal Communication> Unit 8. Same Words Different Meaning	Unit 8 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
	11週	Unit 9. Intonation	Unit 9 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
	12週	Unit 11. Personal or Contextual	Unit 11 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
	13週	Unit 12. Goal or Process Oriented	Unit 12 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
	14週	Unit 13. Sarcasm	Unit 13 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
	15週	Unit 14. Politically Correct	Unit 14 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
	16週	定期試験	これまでの学習内容を整理することができる。

評価割合

	試験	プレゼンテーション	小テスト・課題など	合計
総合評価割合	40	30	30	100
基礎的能力	40	30	30	100